

3. ローマ世界 d、西ローマ帝国の滅亡(2)

⑤前期帝政と後期帝政

	前期帝政	後期帝政
政体	[1 元首]政(プリンケパートゥス)	[2 専制君主]政(ドミニナトゥス)
語源	[3 第一の市民]	[4 奴隷の持ち主]
政治	皇帝と[5 元老院]の共同統治	皇帝の[6 専制]政治
経済	大農場=[7 ラティフンディア]の商品生産と大規模交易・[9 都市]の繁栄 →[10 貨幣]経済の発達	富裕市民の地方移住。[8 自給自足]体制 →荘園的所領経営の普及
労働力	[11 奴隷]中心	[12 コロヌス]の増加
軍事力	ローマ市民権所有者中心の[13 市民]軍	ゲルマン出身の傭兵の増加

4世紀初め皇帝となった[14 **コンスタンティヌス**]帝は[15 **313**]年の[16 **ミラノの勅令**]でキリストを公認する一方、国民の身分・職業の固定化・世襲化を命じ、コロヌスの農奴化を道をすすめた。また東ヨーロッパの[17 **ビザンティウム**]に首都を移し自らの名を冠して[18 **コンスタンティノープル**]と改名した。

そして375年[19 **ゲルマン民族の大移動**]が開始されると、ローマは大混乱に陥り、キリスト教国教化にふみきった4世紀後期の[20 **テオドシウス**]帝の死とともに、[21 **395**]年ローマ帝国は東西に分裂した。([22 **ローマの分裂**])

そのうち、[23 **ローマ**]を首都とする[24 **西ローマ帝国**]はゲルマン民族の大移動の中、混乱が続き、ついに[25 **476**]年ゲルマン人傭兵隊長[26 **オドアケル**]オドアケルに滅ぼされた。

他方、[27 **コンスタンティノープル**]を首都とする東ローマ帝国([28 **ビザンツ**]帝国ともいう)は、[29 **1453**]年まで存続し、[30 **ギリシア**]やローマの文化を後世に伝えた。

- ⑥後4世紀初 **コンスタンティヌス帝**
 ア)[31 **313**]年ミラノの勅令 = 32__ **キリスト教を公認する** _____
 イ)33 **下層民の身分や職業を世襲化・移動の自由を奪う** →特に[34 **コロヌス**]の身分固定 [35 **農奴**]制の成立へ
 ウ)首都をビザンティウムに移し、[36 **コンスタンティノープル**]と改称→専制の強化をめざす (ローマ帝国の首都がローマでなくなる?)
- ④4世紀後期 **テオドシウス帝** → 37__ **キリスト教の国教化=他の宗教を禁止** _____
- ⑤[38 **375**]年ゲルマン民族の大移動開始 → [39 **395**]年[40 **テオドシウス**]帝の死後、帝国東西に分裂
 ア)西ローマ(首都ローマ) → [41 **476**]年ゲルマン人傭兵隊長オドアケルに滅ぼされる(ローマの滅亡)
 イ)東ローマ([42 **ビザンツ**]帝国) → 1453 まで存続、オスマン=トルコに滅ぼされる (首都[43 **コンスタンティノープル**])ギリシャローマの文化を維持

e. キリスト教の成立

①ユダヤ教徒…東地中海各地に住み[44 **唯一絶対神**]であるヤハウェを信仰、[45 **多神**]教のローマ人たちと摩擦を起こす。



圧制から逃れるため[46 **救世主**]を待望し、いっそう[47 **戒律(律法)**]を厳守する。

1世紀、ローマの支配下にあったユダヤ(ヘブライ)人たちは圧政から逃れるため、救世主=[48 **メシア**]を待望していた。こうしたなかで生れたのが[49 **イエス**]であった。

かれは精神のない表面的な[50 **律法(戒律)**]の遵守や祭司の墮落を批判し、神の愛は無償でかつ無差別・無条件の愛であり、身分、民族、性別、職業などを超越したものであると説いた。また「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」と[51 **隣人愛**]を説き、ユダヤ人だけが「選ばれた民」というユダヤ教の狭い[52 **選民**]思想を超えた世界宗教へと発展させた。これにたいし、ユダヤ教指導層はローマ人にせまりイエスを[53 **十字架**]で処刑させた。

イエスの弟子([54 **使徒**])のペテロらは、[55 **イエスの復活**]を説き、とくに[56 **パウロ**]は積極的に[57 **ローマ人**]への布教をすすめた。こうしてこの教えは帝国各地へ伝道、とくに下層民や奴隷・女性を中心に広がり、貴族へも伝わっていった。こうした過程の中でイエスと使徒の言行が[58 **新約聖書**]としてまとめられ、ユダヤ教の経典でもある「旧約聖書」とともに信仰の中心的な経典とされた。

- ②イエス=[59 **1**]世紀初アウグストゥス時代、[60 **パレスティナ**]で生まれる
- ユダヤ教の[61 **選民**]思想や形式的[62 **律法**]主義を批判
 「ユダヤ人だけが神から選ばれた民」 「律法をとりあえず守っておけばよい、守らない者は救われない」
- 身分、民族、性別、職業などを超越した神の[63 **愛**]と、[64 **隣人愛**]を強調
 - 魂の救済「神の国は汝らの心の中にあり」を説く
- ↓
- ③ユダヤ教指導者層、ローマ帝国に働きかけ[65 **十字架**]で処刑させる
- ↓
- ④[66 **パウロ**]らの使徒は[67 **神の復活**]を説き、イエスを「神の子」=メシアと位置づける。
 ([68 **キリスト**]教の成立)
- ⑤ペテロや[69 **パウロ**]ら使徒の手でローマ帝国各地へ伝道される。→「女と奴隷の宗教」
- ⑥経典の整備…「旧約聖書」…[70 **ユダヤ**]教と共通
 「新約聖書」…[71 **イエス**]と使徒の言行録や書簡([72 **コイネー**])で記す